

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901472		
法人名	有限会社 パリーツウドウ		
事業所名	グループホーム ブランタンⅡ 1F		
所在地	旭川市東旭川北1条4丁目15番26号		
自己評価作成日	令和元年11月3日	評価結果市町村受理日	令和元年12月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901472-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172901472-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	令和元年11月20日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員一丸となって入居者様へのより良いサービス提供に努めております。入居者様には日々安心して楽しく笑顔で穏やかに生活が出来るよう支援させて頂いており、ご家族様には入居者様の体調などに変化があった場合などは、速やかに報告・連絡・相談をさせて頂いております。また、月に1度ブランチ通信と職員の手書きのお手紙で、その月のご様子を報告させて頂いております。気候のよい時期には、お食事やお買い物等も含めての外出レクリエーションや近くへお散歩に出かけたりするなどして、外へ出る機会を増やし気分転換をして頂いております。また、施設には月2回の音楽療法、柔道整復師による週1回マッサージ、また訪問理美容にも来て頂いております。健康面では医療連携の看護師や主治医と連携して速やかに対応させて頂いております。地域とのかかわりも大切にし、町内会に加入し、子供110番の家にも登録させて頂いているが町内会長との交流は先方から断られております。運営推進会議も地域の皆様に参加して頂いてご提言等承っておりますが、まだまだご家族様に参加して頂けていないので一人でも多く参加して頂けるよう努めています。また、災害時の提携も町内会の方や協力医療機関等が協力して下さる事になっており、災害がおきた時にはお手伝いをして頂けるとの事。これからも地域に密着した施設づくりをすすめて参りたいと存じております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市内で12施設の高齢者介護事業所を展開しているブランタングループにより、平成16年ブランタンⅡは東旭川の商店や金融機関、飲食店等と住宅が混在する地域に開設されている。グループホームブランタンⅡは、法人名の「パリーツウドウ」(なんでもあり!)「地域に密着し、利用者様の意向に添った介護を目指します。」を理念に常に利用者寄り添った介護を目指している。職員は、利用者に明るい姿を見せたいと元気な声で出勤の挨拶を心掛けている。施設長は、言葉遣い、連絡、報告、相談、利用者、家族への対応を常に基本に沿って行えるよう指導している。また、良いところはすぐに実行、共有できる様取り組んでいる。ユニットでは「だめと言ったらだめ」を目標に利用者の意向を大切にしよう心掛けている。また、家族とのコミュニケーションを大切に、利用者の様子を毎月の通信で知らせるなど心配りをし、信頼関係を構築している。事業所は以前より音楽療法や柔道整復師の施術を行い喜ばれている。夏場は外出を多く取り入れ、気分転換を図りながら、利用者、家族、職員と一体になった事業所である。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない ○
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない ○			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「バリーツウドウ」(なんでもあり!)「地域に密着し、利用者様の意向に添った介護を目指します。」を掲げ、施設介護理念を「明るく!やさしく!ゆったり!」とし、この理念を管理者及び職員が共有し、理念にそった介護を心がけています。利用者様の為になる事であればまずは試してみる事から始めています。	法人名の「バリーツウドウ」(なんでもあり)が理念であり更に施設理念を定め、地域に根差し、利用者本位の介護が出来る様取り組んでいる。その他目標を定めており、本年は「だめと言ったらだめ」を目標に、実践できるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、包括主催の民生委員の方々との研修会参加等で触れ合う機会を設けています。2か月に1回の運営推進会議も民生委員や包括の方が参加して下さいます。	町内会に加入しており回覧板が回って来ている。散歩時には近隣の方との挨拶を交わしている。市の子供110番の家に登録し協力しており、関係構築に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「子供110番の家」に登録しています。また、包括からの相談・問い合わせ等にも早急に対応し、地域包括主催の認知症サポーター養成講座受講者とのステップアップ講座への参加やボランティアの受け入れをしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を行っています。施設での行事報告や運営報告・身体拘束廃止等をお伝えし、毎回議題を持ち入れ参加者の方々からさまざまな情報を頂いており、サービスの向上に努めています。ご家族様への参加協力の促しも面会時、電話やプランタン通信等で行っております。	運営推進会議は年6回利用者、家族、民生委員、知見を有する者、地域包括支援センター職員等の出席を得て開催し事業所状況報告、活動報告を行い質問、意見をj得て協議を行い、サービス向上に努めている。欠席家族には大まかにではあるが、内容報告を行っている。	利用者家族の出席はほとんど見られず、報告も大まかな物になっている。家族出席への取り組みと情報共有の体制構築を期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者は市町村担当者と連携を取り、サービスの質の向上に反映するよう努めております。市主催の研修に参加し、常に最新の情報把握に努めております。さらなる協力関係も構築できるように努めてまいります。	市担当者とは報告書提出や相談を行っており、町内会交流についての力添えをお願いしている。また地域包括主催の交流会インクルの会に出席し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないという事は代表者及び管理者、職員全体が理解しており、原則、玄関の施錠に関しては防犯上夜間帯のみ行っております。毎月のミーティングの中でも身体拘束廃止委員会を行い、特にスピーチロックをしない尊厳のあるケアを目指しています。	身体拘束廃止に向けては指針を作成し、施設長、管理者、職員全員が委員になり毎月の職員会議の中で委員会を開催している。研修は内部研修を年2回行い、身体拘束の弊害や禁止項目、言葉遣いの行動抑制等について勉強し正しく理解し身体拘束の無いケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待の詳細に関しては、ミーティングの場等を利用して職員にわかりやすいように都度説明を行っております。職員一同入居者様に、安心して生活して頂ける介護を提供できるよう心がけ実践しております。研修会への出席も積極的に促しており、ホーム内でも年に2回は勉強会兼研修会を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者等が外部研修等で得た事をスタッフと共有したり、外部研修への参加をスタッフにも促しております。旭川市成年後見支援センターとの繋がりもあり打ち合わせをしながら市民後見人の方と協議しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約時は契約内容や施設の概要などをきちんと説明させて頂いておりますが、疑問点等の問い合わせの都度説明させて頂いております。退去時等におきましても、不安や疑問なく安心して頂けるように十分に説明をさせて頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置して、気遣う事なく意見を伝えて頂けるようにしております。また、苦情・相談に関しましては、ご家族様が何でも話しやすいような雰囲気づくりを大切に、伝えやすいようにしています。また、顔が見えない電話対応にも気を配っております。	利用者、家族の意見や要望は毎日の会話や、面会時に様子を報告する時に、把握するよう努めている。特に話しやすい雰囲気づくりには気を使っている。また、家族には日常の様子を知ってもらえるよう個々の通信作成に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々職員からの意見や提案には耳を傾けるように努めております。どのような意見につきましても、皆で情報を共有して話し合いで決定して業務の改善に反映するように努めております。何事も管理者一人の考えに偏らないようにしております。	職員の意見や提案は日常業務の中や申し送り時、また毎月の会議で把握し、反映する様努めている。また、現在、施設長は、言葉遣い、報告、連絡と基本に沿った業務、介護が出来る様改革に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス要件を提示し、個々の努力や実績、勤務状態の把握に努め、やりがいと向上心を持って日々業務に励めるように職場環境・条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には積極的に参加できるように、案内文等を職員間で回覧し周知しております。また、ホーム内での研修も行っております。研修における予算も法人に割り当てがあり、その範囲内であれば自己負担なく研修を受けられます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各種会議や研修などに参加し積極的に他事業所の方々との交流の機会を持てるように促しています。地域の包括支援センターの方とも交流を図り、施設を訪問して下さる事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の生活の状況を把握し面談の際不安や希望等を時間をかけてゆっくり聞かせて頂いております。ご本人様のご要望をお聞きしご説明させて頂き、信頼関係の構築に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にはご家族様が心配なこと等を良くお聞きし、十分に説明をさせて頂いております。併せて要望等もお聞きし、その要望に関してもしっかりとお話しさせて頂きながら検討・対応してお互いの信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用、例えば医療機関、また事業所及び公的機関も含めその方に応じたサービスの提供に努めている	相談初期の段階で、ご本人様とご家族が、「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用、例えば医療機関、また事業所及び公的機関も含めその方に応じたサービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭生活の延長として可能な方には調理や後片付け、掃除、洗濯物たたみなどを職員と共に行って頂いたり、一緒においしい物を食べたり楽しい物を見たりと皆と一緒に感動を共有できるような関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様ご家族様と一緒に感動を共有し、いつでも相談できるような関係が築けるよう、ホーム内での生活の様子をお手紙や写真でお知らせしたり、イベントや運営推進会議への参加呼びかけを行っている。また、来設時は本人の様子を説明したりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力を得ながら関係が途切れないように、面会や外出の機会は尊重させて頂いております。以前住まれていた近所の方や知人の方々にも同様です。また、なじみの場所に出かけたりする事も適宜行うように配慮し関係を断つ事がないように心がけています。	利用者の友人の訪問があり、話しやすい雰囲気になるよう努めている。また、整髪は馴染みの店への訪問者はなく、訪問理美容で行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の個性を尊重・配慮しながら、孤立する事のないようにレクリエーションや行事への参加を促したり、声掛けしたり仲介に入る等して利用者同士が関わり合い支え合えるような支援に努めております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去した後も何らかの相談等が必要になった場合は、誠心誠意対応させて頂くよう努めております。また、次の入居先を探さなければならない場合などの相談支援も行っております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ひとりひとりの希望や意向をお伺いしております。ご本人の意向の確認が困難な場合においては会話や表情から気持ちをくみ取る努力をした上で、ご家族様にもお聞き確認させて頂いております。	利用者の思いや暮らし方の意向は日常の会話や家族から伺い、実現できるよう取り組んでいる。ユニットでは「だめと言ったらだめ」の目標を決め、利用者の意向に沿った生活が出来るよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に生活歴などを詳しくお聞きし背景等を理解しそれらの情報を職員間で共有し日々の生活に関わるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者個々の身体状況や日々の過ごし方を的確に把握し生活の支援に反映するように努めております。申し送りなどで情報の共有及び把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングなどで情報交換を行った後、本人、ご家族の要望も取り入れ、担当者会議などで検討し一人一人に合った介護計画を作成し、その後は定期的に見直し作成を行っている。毎月のケアカンファレンスも行っている。	介護計画は基本的には短期目標期間の6ヶ月毎に利用者、家族の要望を取り入れ見直している。毎月会議にてカンファレンスに取り組み、利用者の状況把握し、現状に即した計画を作成している。以前から利用者に合わせて音楽療法や柔道整復師による施術を取り入れている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践ができているかどうかプランの項目を入れて記録を書くように改善しています。ちょっとした変化等も気付いた事を書く様に職員間で情報を共有しながら計画の実践・見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々、本人の身体及び生活上に生まれるニーズの把握に努め、既存のサービスにとらわれない支援やサービスの多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市役所広報や地域新聞、回覧版等で地域の資源を把握し、利用者様が必要としている資源を提供出来るように努め、少しでも安心し豊かな暮らしが送れるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診はご本人様、ご家族様の希望を尊重しています。かかりつけ医も含め利用者様に適した医療を受けられる様に受診・往診対応で支援しています。また、緊急時にはかかりつけ医に連絡を取り指示を仰ぎながら適切な医療を受けられるように支援しています。	受診は利用者のかかりつけ医へ家族対応で行っているが、家族の対応が難しい時は事業で対応している。利用者の半数は協力医の往診を受けている他、毎週1回法人の看護師の訪問があり、健康管理を行い適切な健康管理が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が週1回来てくれています。日々の関わりの中で得られた情報を伝え相談しています。それ以外でもいつでも電話連絡が取れるようになっておりますし、必要であれば定期以外でも来てくれます。利用者様が適切な受診、看護を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様が入院した際は、できる限り職員が同行し本人のアセスメントシートや情報を提供できる様努めている。また、退院に向け、連絡を待つだけでなく、こちらからも連絡を行い情報交換をしている。 多職種研修会等の参加でも病院関係者と良い関係が作れるように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方に関しましては、指針を基にご家族様に説明させて頂くと共に施設として支援が可能か等をご家族様の意向を確認しながら、主治医、医療連携の看護師、施設スタッフ等も含めてチームで支援に取り組んでいます。	重度化した場合や終末期については、プランタンⅡ看取りに関する指針で契約時に説明し理解を得ているが、最終的には再度説明し意向確認書、同意書を得て看取りに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアル・緊急連絡網を作成し職員がいつでも確認出来る様になっています。看護師参加のミーティングで対応方法等の勉強会もしています。いずれの場合も落ち着いて対応できる様に心掛けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練は日中想定と夜間想定で年に2回、消防設備会社立会いの下で、できる限りの入居者様にも参加して頂いて行っています。また、最低限の避難食も常備しています。避難訓練には参加して頂けないとの事ですが、町内会他、協力医療機関等の施設から(防寒備品含め)の協力は得られるようになっております。	火災の避難訓練は、3階にある有料老人ホームと合同で毎年2回、日中、夜間想定で行っている。消防署の立ち合いは無いが防災業者の立会があり、指導と助言を得ている。運営推進会議に報告しており、地域や協力医療機関から協力申し出もある。	避難訓練での地域住民の参加が無く、協力範囲や役割が未伝達であり、協力手段、体制の構築を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会の一つとして不適切な言葉がけにならないよう学びの場を設けており、利用者様の尊厳を保持し誇りやプライバシーを損ねない様に心掛けています。ご本人様への呼び掛けはご本人様のご希望を伺い、ご家族様にもご確認の上で下の名前前で呼ばせて頂いている方もいます。	利用者の誇りや自尊心、尊厳を損なわないようにプライバシーに気を付けた言葉かけや対応を行っている。呼び方は苗字さん付けを基本としている。ファイル等には直接名前は書かずナンバリングで分かるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様のお話をよくお聞きし、可能な限り日々の生活の中で自己決定出来る事を増やせる様に支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様ご本人のペースを優先に考え、本人のペースで日常生活をおくれるよう支援しております。また、余暇活動への参加の支援、声掛けお誘いも行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分の意志で好みの服を選んで頂いていますが、思いを表現できない方や汚れていることに気が付かない利用者様も居ります。利用者様の尊厳を大切にしつつ対応しております。2カ月に1回訪問理美容に来て頂きカット・パーマ・肌剃り・お化粧等をしてもらいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューはプランタングループ共通で毎日昼食は職員と一緒に食事をしています。外食行事もっており、お正月・お盆等季節の行事にはイベントメニューで、個々の誕生日には手作りケーキでお祝いさせて頂いております。また、出来る方にはもやしの芽取りやお盆拭き等のお手伝いを頂いております。	食事の献立は法人全体で契約している外部委託業者が作成し、食材は前日に届き、職員が調理するようになっている。利用者の希望で回転ずし等の外食に出かける事があり、留守番チームも出前で楽しんでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量や水分摂取量は温度版に記録しています。個人の状況によりお粥・キザミ食・ミキサー食・また水分にトロミをつける等させて頂いて誤嚥等を防ぎながら美味しく食べて頂ける様にしています。食事の時間に拘らず、臨機応変に対応するようにしています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人一人の状態にあった口腔ケアを実践しております。定期的に歯科の検診・治療も往診対応して頂いております。また口腔内にトラブルがあった場合は、ご家族確認のうえ早急に往診・受診対応をしております。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々、排泄チェック表を用いて個々の排泄のパターンの把握に努めております。また、最後までトイレでの排泄ができるように、排泄誘導などの支援を行っております。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し記録に取りながら、声掛け誘導でトイレでの排泄を促し、不快な思いを感じさせない支援に取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に関しては、水分摂取(1日1,000cc)を摂取できるように促し、声掛けを行っています。毎朝、牛乳摂取も行っており希望される方にはヤクルトの配達もさせて頂いております。温度版による排泄の確認も行っており、担当医と連携を図り下剤調整もしております。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は1・2階で曜日を決めさせて頂いておりますが、ゆっくり入浴してもらえるように努めています。リラックスできるようにお湯の温度も個人の適温に合わせてくれる様に努め、その日の体調によってはシャワー浴や清拭での対応もしております。	週2回を基本に利用者の希望や状況を考慮し行っている。1、2階タイプの違う浴室があり、拒否のある方には無理強いすることなく時間やシャワー浴、清拭などに変え入浴支援に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人個人の生活習慣を大切にしながら、個々の体調・体力に合わせて日中でも休息して頂いたりしています。気候の良い時には散歩などをして頂き適度な運動を促し、快適な睡眠ができるように支援しております。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をいつでも確認できるようにチャートにことじ、職員の共通情報としてそれを確認しております。効能、副作用、用法、用量の確認もできます。服薬支援は口腔内に投薬し飲み込みまで確認させて頂き投薬の際はダブルチェックで支援しています。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	読書やテレビ鑑賞・新聞購読・裁縫や編み物等の趣味をされたり、洗濯物たたみや牛乳パックを切る等のお手伝いをさせて頂いたり個人の能力に合わせてできる事を見つけながら支援しています。天気の良い日には日光浴や近所に散歩へ出かけたりもします。			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り個人の希望に添った外出の支援ができるように努めております。天気の良い日は日向ぼっこや散歩をしたり、買い物に行ったりしています。また施設のイベントとして外出レクを企画しております。外出、外泊もご家族と一緒にであれば可能です。	日常的に散歩や外気浴に取り組んでいる。気候が良くなる4月から11月の間は毎月外出できる様企画しており、買い物ツアーやバイキングへの食事で楽しみ、気分転換を図っている。散歩を希望する利用者には能力に合わせ歩く範囲を変え取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の了解のもと、若干の金銭を持たれている入居者様もいらっしゃいます。レクでお出かけの時に好きな物を購入されたり出来る様に支援を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様自ら電話を使用したい場合は取次代行を行っております。郵便に関してもご本人の要望があれば郵送代行も行っております。また、個人的に携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは冷暖房完備で室温調節を行っていますが、日差しを取り入れたりして自然の光や風での調整も大切にしています。窓も定期的に開けて換気も行っています。また、ホール内装飾に関しましては、過度にならないように適度に季節感のあるものを展示させて頂き、照明も適度な明るさを保てるように配慮しています。食事中はテレビではなく音楽をかけて過ごして頂く事もあります。	鉄筋コンクリート3階建ての建物で1、2階をグループホームが使用している。1階には整復の施術室が配置されており、利用者の整体を行っている。冷暖房が完備され、冬期間の湿度にも配慮されている。季節の飾りつけや行事の写真が掲示しており、居心地よく談笑できる様工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールではそれぞれの席で好きな事をして過ごして頂けるよう配慮しています。時にはお話の合う方向士でお座りになってコーヒーを飲みながらお話をされて過ごしておられたり、職員や利用者様同士でオセロ等を楽しんだり、大人数でトランプもされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご家族様と相談してご本人に馴染みのあるものをおいて頂いたり、思い出の品を飾って頂いたり居心地の良い空間作りを支援させて頂いております。また、お部屋のシーツ交換、掃除機かけなどは定期的に行い清潔の保持に努めています。	居室にはトイレ、洗面台、かつてのユニットバススペースを利用した収納スペースがあり、1階は空調エアコン、2階は温水暖房が完備されている。清掃も行き届いており、環境保持に努めている。更に箆筍、ソファ等の家具を配置し、家族の写真、絵、人形を飾り居心地よく生活できる様工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お部屋がわからなくなってしまう利用者様には、入口に目印になるものを貼らせて頂くなどして自立した生活が送れるよう支援しております。また、お部屋まで車いすを自走してもらったり、歩行器を使用して自力で歩行して頂けるようにも支援しております。		